



議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。

# 総務文教

## はりま病院誘致は

■8月10日開催

はりま病院のJRR土山駅南町有地への移転

Q 病床数差額ベッド費用は取るのか。

A 公立病院でも個室ベッドは差額を取っている。4床部屋が個室となる。

Q 地域との連携、個々の医療機関との関係は。

A 救急医療、健診も可能である。地域に受け入れられる病院と考えている。ネットワークは今後の検討課題。

■4次播磨町総合計画の進捗状況(アンケート)

Q 今後はできるだけ全住民を対象とすべきであると思うが。

A 今後、検討していきたい。若い人の回答者が少ないが。

Q 他市町も若い人が少ない、自分は行政に関係ない、自分がいなくてもいいが。

A 他市町も若い人が少ない、自分は行政に関係ない、自分がいなくてもいいが。

れかがしてくれる、わずらわしいとの考えがあるのでは。

■中学校給食

Q 検討委員会の夜の開催はあるのか。

A 昼間、夜間を問わず出席できる人を、できれば夜間に開催したい。

Q 給食業者などについては、配膳室、ダムウエーターはフタバ設計に、調理・配送については未定。

■少人数学級など

Q 35人学級の効果は。

A 40人よりも25人の方が習熟度は高い、教師一人が見る児童数が少ない方がよいと考える。

Q 生活指導については、きめ細かく指導、人数が少なれば目が届く。

■放課後子どもプラン事業

Q 学童保育と重なる部分がある。現況で定着でき

るのか。

A 3カ年計画の補助事業である。来年度は未定。

Q 学童保育と子どもプランの両方に入っている児童は。

A 連池で8人。

Q 今後、一本化の方向に

# 建設水道

## 地籍調査いよいよ着手

閉会中の6月22日・7月24日・8月12日の3回、委員会を開催しました。テーマごとに要約して報告します。

■地籍調査事業

▼事業の成果は、用地確定が不要になり買収が円滑に進むこと。災害時には迅速に復旧でき、土地の取引などにもメリットがある。課税の適正化にも有効。

▼震災で液状化した新島から調査を開始。10年後には内陸部に入り、全体では30年程度は期間を要する見込み。

喜瀬川・水田川の整備

▼喜瀬川の草刈は県から委託を受けて年間3〜4回程度実施。約750万円の経費で町負担は3分の1。

▼水田川の浜幹線から県道までの第1工区220mの整備が平成23年度に

ついで。

A 子どもプラン事業は文部科学省が、学童保育事業については厚生労働省が行っているため、一本化は難しい。



▲整備が進む水田川

完了。上流の第2工区180m、ならに上流の第3工区550mの整備計画は未定。

■町道浜幹線整備計画

▼整備延長は1070m。道路幅員16m。歩道は両側に3.5m。平成19年度から地方特定事業として実施し、10年後の供用開始を目指す。

▼一部難航箇所はあるが、全体としては順調に進捗している。

■その他

▼下水道料金の改定に向けた取り組みや下水道への代替促進策を確認。

▼あひ公園・新島中央公園・野添北公園などの改修状況について確認。

# 民生生活

## 主要事業の進捗状況は

■7月3日開催

■委員会の進め方

重点事業を調査研究し月1回開催。「播磨町まちをきれいにする条例」は、議会と行政が協議しながら進めていく。

■8月7日開催

■介護保険事業

65歳以上の高齢化率は19.9%で6809人。要介護認定者数、給付費

とも増加。保険料は基準月額700円の引き下げを実施した。

Q 介護保険の収支は。

A 第3期で2億5000万円の赤字です。

Q 今後の施設サービスはどう考えているのか。

A 小規模多機能型の施設を中心に整備したい。

■学童保育、在宅福祉サービス

Q 学童保育は小学1年か

1ツができます。ぼくは、秋ヶ池運動場がお気に入りです。

■二つ目は、スポーツ施設です。総合体育館は、ドッチボールなど色々なスポーツができて、すごく便利な場所です。その横にある広場でも、野球

やサッカーなどがたっぶりできるのでとても気に入っています。ほかにぼくの家の近くには公園などがたくさんあって広びろと遊べる場所があるので、ぼくは、そんな播磨町がとても好きです。

## 表紙の題字は

播磨南小学校6年  
吉見 広紀くん  
の作品です



ぼくが、播磨町ですごく気に入っている場所について紹介します。

■一つ目は、秋ヶ池運動場です。秋ヶ池運動場は、公園でおにごっこなどが

できるし、芝生も広いので、サッカーやスナックゴルフなど、色々なスポ

## ぼくのお気に入りの場所

## 平成20年度 政務調査費の決算報告

議員の調査研究に必要な経費である政務調査費として、平成20年度は216万円補助し、8005円の返還がありました。政務調査費は、同じような考えを持つ議員たちで構成する会派に対し、半期ごとに所属議員1人当たり月額1万円が交付され、その使途は行財政に関する調査研究費、講演会参加などの研修費、会議費に限っています。収支報告書への領収書の添付も義務付けられています。

Q 補助金は3年でなくなるが、その後は。

A 必要な事業は町費も検討したい。

Q 地域支援ネットワークは公募したのか。

A 応募はNPO法人のアイソンだけ。

Q 防炎無線更新事業は

A 災害時の情報の共有と活用に重点を置き、デジタルシステムへ移行する設計業務の実施と、無線設備の更新を行う。

Q 独居老人の比率は。

A 732人、10%です。

Q 緊急雇用就業機会創出事業

Q 感染予防対策としてマニュアルを作成する考えは。

Q 現在のところ、作成は

A 考えていない。

■新型インフルエンザ対策計画

国・県の計画に準じて21年度中の早い時期に策定したい。感染防止策を講じている一般医療機関でも受診が可能。